

※本資料は当社ホームページで公開しております動画「CAMベトナムウィークリー(毎週月曜更新)」を元に作成しております。右のQRコードからご視聴いただけます。



情報提供用資料

2025年3月31日

CAMベトナムウィークリー(先週のVN指数：3/21-3/28)



	週間	月間	YTD
VN指数	-0.33%	0.93%	4.00%
VN30指数	-0.31%	1.29%	2.17%
VN中型株指数	-1.24%	-2.80%	2.02%
VN小型株指数	-0.45%	-3.89%	0.85%

先週のVN指数は1321.88ポイントから1317.46ポイントへと0.33%の小幅な続落となりました。先週の市場は、複合企業ビングループ傘下の電気自動車メーカーであるビンファストの輸送サービス業者向け予約件数が好調なことなどを受けて、上昇して始まりました。しかし、週半ば以降は4月2日に予定されておりますトランプ米政権による相互関税の発表を控え、利益確定の売りに押される展開となりました。規模別に見ますと、大型株のVN30指数が-0.31%と続落し、中型株指数が-1.24%と反落しました。また、小型株指数が-0.45%と下落を続けております。

	週間	月間	YTD
為替レート (ドン対円レート)	1.29%	0.85%	-4.85%

通貨ベトナムドンにつきましては、米ドルに対して引き続き横ばい圏での推移となりました。一方、ドル・円相場は、週後半にトランプ米大統領が輸入自動車に対する25%の追加関税を発表したことで、インフレ再燃が懸念され米長期金利が上昇したことで、ドル高・円安が進む展開となりました。ベトナムドンは円に対して+1.29%と上昇を続けております。

セクター	騰落率	セクター	騰落率
金融	-1.0%	素材	-0.2%
不動産	3.7%	公益事業	0.2%
生活必需品	-0.6%	エネルギー	-2.3%
一般消費財	-2.6%	情報技術	-3.1%
資本財	-0.5%	ヘルスケア	-4.1%

セクター別に見ますと、8セクターが下落いたしました。特に右下のヘルスケアが-4.1%と反落し、その上の情報技術が-3.1%と続落いたしました。一方、左上から2番目の不動産が+3.7%と続伸しております。

銘柄名[ティッカー]	騰落率
ビンググループ（不動産）[VIC]	+9.4%
サイゴンハノイ銀行（金融）[SHB]	+8.1%
ビンホームズ（不動産）[VHM]	+6.1%

銘柄名[ティッカー]	騰落率
LPバンク（金融）[LPB]	▲3.9%
TPバンク（金融）[TPB]	▲3.7%
ベトナム石油総公社（エネルギー）[PLX]	▲3.6%

大型株VN30指数構成銘柄の騰落率を見ますと、複合企業のビンググループが +9.4%、大手民間銀行のサイゴンハノイ銀行が+8.1%とそれぞれ続伸しました。また、ビンググループ傘下のビンホームズが大規模な埋め立て計画の承認などを受けて、+6.1%と上昇を続けております。一方、下落銘柄は中堅銀行のLPバンク、TPバンクがそれぞれ-3.9%、-3.7%と続落しました。また、ベトナム石油総公社が-3.6%と下落を続けました。VN指数は、小幅な続落となりました。

VN指数直近1年の推移



4月2日に予定されておりますトランプ米政権の相互関税の発表など、引き続き注意が必要ですが、ベトナムの企業業績は、一部の推定によりますと1-3月期も2桁増益が見込まれております。一方、バリュエーション面では、足元の予想PERが10倍程度と過去平均を下回る水準にあり、依然として割安感が注目されます。

以上